



梅田通信

No. 18
平成21年
8月15日発行

2009. August

日野市議会議員 梅田俊幸 後援会 梅田通信

UMEDA TOSHIYUKI'S NEWS

市政報告

残暑お見舞い申し上げます

まだ暑い日が続いておりますが皆様如何お過ごしでしょうか。

今年度は当市におきましては、「選挙の年」と言っている程、選挙が続きます。

まず、4月には市長選挙が行われ、馬場弘融市長が四選を果たしました。

市長支援者の中でも多選を指摘する方もおりました。3万5千余票という支持を受け、当選しました。

当初は三つ巴の選挙ということで心配をしましたが杞憂に終わり、支援をした一人としても心より御礼を申し上げます。

今後の4年間、厳しい経済状況の中での市政運営となります。

特に次世代への継承も視野に入れながら、市立病院改革や財政問題等、中長期プランの作成も考えなければなりません。

当市は、地方交付税不交付団体として懸命に財政努力を行ってきたと評価しますが、更に第三次まで行ってきました行財政改革の検証を行い、あらゆる点でチェックをし、経常収支比率の引き下げ等、より一層、推進しなければなりません。

積年の市民要望である「ふれあいホール」(複合総合体育館)建設をどうするのか、債務約950億の返済計画をどう立てるのか。市民からは、二律背反の政策展開を要求されていると思います。

しかしながら、自身でも言っておりますが初心を忘れることなく全市民の代表として、日野市発展の為に精一杯ご尽力を頂きたいと思っております。

私は自民クラブの代表ではありますが、辛口の意見、具申を申し上げ、評価をさせて頂きたいと思っております。

そして7月の都議会議員選挙では多くの皆様にご支援を頂戴し、現職の古賀俊昭氏が五選を果しました。

ご存知のとおり、今回の選挙は大変厳しい状況でしたので、支部幹事長としても、胸を撫で下ろしております。

しかし、今回の都議会選挙は都政の事は何処かに追いやられ、国政の事ばかり報道される一種異常と思う報道姿勢には首を傾げたくまりました。確かに衆議院解散目前という時期ではありましたが11年目を迎えた石原都政についての議論はあまり無く、懸案である新銀行東京や築地魚市場の移転問題等の本質的な議論が少なかったように思い残念です。

新銀行東京は本当に潰してしまっているのでしょうか。また、石原知事就任前から関係者も含め検討してきた築地の移転問題を本当に白紙にできてしまっているのでしょうか。そんな思いがしました。

選挙は毎回様々な面で勉強になります。色々と感じることがあります。

よく政治の世界では出処進退は自身でしか決められないことと言います。確かに自身の人生に拘る重大事です。理解出来ますが同時に市民や国民にとってはどうなのか、という視点でも我々議員は考えなくてはいけないと思います。

市民の目線で真の正義を考えることが重要です。

事を起こすには大義名分が必要です。それなりの十分な説得力のある説明が必要だと思っております。

私はこれからも真の正義は何かを考え、活動を行いたいと思っております。

今後ともご支援をお願い申し上げます。

平成21年 晩夏

バス旅行のご案内

梅田としゆき後援会主催

恒例の「秋のバス旅行」を今年も行います。皆様お誘い合わせの上、ご参加下さい。

「秋の小江戸・川越の散策」

「第6回バス旅行」 会費 6,000円

平成21年10月25日(日)

お申し込みはお早めに!

■申し込みは… 586-4767か 586-6150まで

平成21年度第2回定例会一般質問

「1.観光立国教育の推進について」

～郷土に誇りを持つ教育の推進を～

平成19年1月から「観光立国推進基本法」が施行されました。

この法の基本は当然、観光立国の実現を目指したものです。

基本方針では、国民の国内外旅行の発展、観光の持続的な発展、日本のソフトパワーの強化に貢献するというものがありますが、もう一つ、基本的な方針の中に「地域住民が誇りと愛着を持つことの出来る活力に満ちた地域社会の実現」という項目も盛り込まれております。

また、観光立国推進基本計画の中でも「次世代を担う子供たちに対し、観光に対する興味及び理解を早い段階から促す」という項目もあり、「学校における地域固有の文化、歴史等に関する教育の充実」という項目は、教育基本法の趣旨にも通ずるものです。

そこで、今回は観光立国教育という視点から当市の教育においてもこの考え方も導入され、「自分が住んでいる郷土の良さを理解し、そこに愛着をもつ教育」のより一層の推進を願い、質問を致しました。

1. まず、この観光立国推進基本法、観光立国推進基本計画の概要についてお聞きしたいと思います。

現状の市の計画も踏まえ、観光行政の今後の展開について、合わせて質問致します。

意見 ～この観光立国推進基本法の第4条に地方公共団体は、その区域の特性を生かした施策を策定し、実施する責務を有するという項目があります。

日野市は、前倒しで法の施行、約1年前に計画を策定しましたので、先見性があったと思います。

ただ、既に3年が経過しましたし、経済状況やまちづくりの状況等も進捗しておりますので、国の計画も5ヵ年計画で策定されていることから、見直しも必要ではないかと思えます。また、条例化を検討されても良いのではと思えます。

2. 「新選組まつり」も今年で第12回目となり、メイン会場も高幡不動尊になり、様様なご意見が出ていることと思えます。

今年は保育園児も多く参加したということで、パレード参加者約600名は過去最高なのではないかと思えます。以前からそう考えられている方もいらっしゃるかと思えますが、このまつりの今後を考えた時、子供達を取り込んだ取り組みは必要不可欠ではないかと思えます。

と言うのも、昨年、会津まつりを見学し、大変、感心し、伝統を感じました。

会津まつりでは子供たちの参加が大変多いのです。「会津まつりガイドニュース」には役柄参加の中学生が写真入りで紹介され、小学生のみの鼓笛隊パレードもあります。そして、おまつり前日には、15地区の子供会総勢12,000名が提灯行列を行うとの記事もあり、驚きました。

歴史的にも伝統的にも多少違うかも知れませんが、このように「新選組まつり」でも子供たちが参加するような仕掛けが必要ではないかと思えました。

意見～関係のない地域のもので質問するのともうかと思いましたが、関係が薄い市民も取り込まなくては全市民的に大きくならないと思えます。

約200名の園児の参加は本当に良かったと思えます。先ほども申し上げましたが、このような子供たちの参加を多くすることが全体的な参加者の増加になると思えます。

そこで、小中学校でも参加出来ないかと思えます。

3. 観光立国推進基本法及び教育基本法の方針でもあるように、新選組まつりへの参加を推進することも方針に沿ったものであり、必要であり、出来るものだと思いますが、教育委員会、学校の考えはどうでしょうか。

意見 ～公立では難しい点があることも承知ですが、もう一歩踏み出して貰いたいというのが関係者の願いです。

全市民的なまつりにという考えであるならば、少しづつでも、特に関係地域の小中学校には期待したいと思えます。

4. 郷土に誇りを持つ教育の現状での取り組みについてお聞きします。

現在、教育センターでの取り組みの中で地域教育推進委員会、ふるさと教育係が担当されています。

教育センターの調査研究事業の報告会を拝見させて頂いておりますがよく取り組まれていると思えます。

学校によっては若い教員が多く、この教育センターの取り組みは大変有意義であると認識しております。

子供たちが地域の観光資源を調べることにより地域の歴史、文化、地域の良い所を発見出来るようになる。この「調べ学習」の結果、郷土に愛着が湧いてくると思えます。

現在の取り組みと同様の部分が多いかも知れませんが、当市において、観光と言っても難しいかも知れませんが「観光」というキーワードを入れることがこの法の方針です。如何、お考えでしょうか。

意見 ～日野市観光基本計画の基本方針及び重点施策にもあるように歴史観光資源や自然観光資源の調査、掘り起こしを行うことを学校においても子供たちに学習の中で取り入れることが出来ると思えます。これが国が推進しようとしている観光教育です。

調査、研究をするには地域の方から聞いたり、地域を見たりします。

これは教育センターで行っている日野の郷土教材の収集、開発ではないかと思えます。

5. 郷土に誇りを持つ教育の観点から、少し範囲を拡大し、北方領土についての学習状況をお聞きします。

昨年、私は、ビザなし訪問事業で北方領土へ訪問してきました。

このような領土問題等の国際交渉は当然、政府の責任において行われるわけですが、私は国民の総意がより強い日本のメッセージになると思えますし、政府間交渉でのバックアップになると思えます。先走って3.5島返還も考えられるなどと言うような不穏当な発言は、元島民や返還運動に携わっている国民に対しても無礼なことであり、許されない発言です。

私は昨年、訪問時の事前研修において、「北方領土問題とは」というビデオを観ました。このビデオは全国の中学校において使用されていると聞きました。

今国会提出予定の「北方領土問題解決促進特別措置法」改正案の中には、「学校教育及び社会教育における領土教育の振興、普及を行う」また、「北方領土返還要求運動の後継者の育成」という項目もあります。そこで、当市の中学校での状況をお聴きします。

意見 ~ビデオ学習は行っていないということです。このビデオにつきましては、調査をされ、あるものであれば取り寄せ、是非、学習教材として活用するようにして頂きたいと思います。

私も関係機関で調べますのでお願い致します。

6. 続いて「日野市歌 緑のまち」制定の経緯について

この市歌を普及することも郷土を愛し、誇りを持つことに繋がるのではないかと思います。

現在、夕方、防災スピーカーで流していますが、果たしてどのくらいの市民が日野市歌だと認識しているのでしょうか。

多くの市行事の際には組み入れて認知の普及をしてみても如何かと思えます。

意見 ~経緯について、付け加えれば、当初、日野という歌詞がなかったが議会の指摘により日野という歌詞が加わったと聞きました。

他市の状況では、横浜市民はほとんど全員が市歌を歌えるらしいです。

100年前の開港記念に制定、森林太郎（鷗外）の作詞であり、市歌というより港歌という歌詞ですが、さすがに格調が高い。

当市のものは、原版がデジタル化になっていないということで問題です。

ホームページではダウンロード出来ますがCD化が必要ではないかと思います。

当初のものは芹洋子さんの歌と聞きましたが、ご検討お願い致します。

7. 市民への普及を考えた場合、子供たちへの教育がもっとも最適だと考えます。音楽の授業での国家君が代の学習とセットで行うことが望ましいと思えます。

市歌の普及に教育委員会として、学校現場での取り組みは考えられないか、ご質問致します。

横浜市では小学校で学習指導されていて、卒業式、市行事等で演奏、斉唱されています。また、CDは850円で販売していますし、貸出しもしています。

意見 ~今回は観光立国教育の視点から郷土に誇りを持つ教育の推を願ひ質問させて頂きました。

日野市で生まれ、育った子供たちが将来の日野市を背負っていくことは当然ですが他地域へ転居した人も日野市を誇りに思い、郷土愛にあふれる人になって貰いたい。

何年経っても、校歌とともに市歌も忘れないというのも良いものだと思いますか。

私たちも出身地は八王子と立川の間の日野市ではなく、日野市なのだと胸を張って言える、まちづくりをしなければなりません。

◎地域の話

3・4・19号線(国道3・3・2号線から豊田駅に通じる道路)が開通し、同時に矢崎橋も開通しました。

この矢崎橋の名称は、地域の方々のご提案により豊田第四地区の昔の地域名から取らせて頂きました。写真の橋の揮毫は近隣にお住まいだった丸山先生によるものです。

先生は5月に他界され、開通式には間に合いませんでしたがこのような形で揮毫をして頂き感謝申し上げます。

私は小学生の頃、4年間ぐらいだったと思いますが先生に書道を指導して頂きました。

大変温厚なやさしい先生で日野市書道連盟の会長を始め、様々な要職を務められました。子供の頃、お正月の時の書初めの集まりはとても楽しかったことが記憶にあります。

ご冥福をお祈り申し上げます。合掌



平成21年度第一回臨時議会 5月29日(金)

今臨時議会は市長選挙から初めての議会でしたので市長より改めて就任の挨拶がありました。また、6月支給の職員期末手当の改正(マイナス0.2が月)を行いました。同時に私供議員の期末手当につきましても同率の改正を実施しました。

議員定数改正を検討中

ご存知のとおり昨年からの世界的な経済不況の影響により当市の財政運営も大変厳しい状況です。今年度の予算編成についても各部課の削減政策により編成出来ましたが出来たが来年度は更に厳しいのではないかとの見通しもあります。

そこで、当然、私達議会でも議会費の削減ができないものか、検討を行っております。

しかし、現状では大きく削減できるものがないのが現状です。

市民の皆様からのご意見で議員定数の削減に関するものがあります。日野市議会では過去に定数30名から26名に改正しました。平成14年の選挙より現在の26名となりました。

当時、近隣区市町村でも定数減は行っておりましたが4名の減員は多い部類かと思えます。

しかし、昨今の経済状況や市民からのご意見を考慮し、更に定数減を検討しております。

共産党は市民意見の聴取が十分に行われないと反対の姿勢ですが現在の地方議会の存在意義やこれからの議会改革を考えた場合、議員自身のことであっても定数減は避けて通れない改革であると思えます。

欧米の地方議会は日本と比べ少人数で監査役的な役割と聞いています。基本的な仕組みの違いがあるものの、これからの日本の地方行政にあったシステムを模索する必要があります。

根本的には、地方自治法の改正が必要ではありますが国のあり方が問われている現在、地方分権や道州制改革の議論と同時に我々も今後の地方行政のあり方について議論を行うべきです。

直接市民が関わる人が多い地方行政においては国からのトップダウンではなく、ボトムアップの改革案や政策展開を望みたいと思えます。

市議会議員選挙は来年の2月の予定ですので今年中の定例会でまとめたかと考えております。

私はこの定数削減案を昨年から各会派の代表者へ会派内でも議論をしてほしいと打診してきました。出来れば9月の定例会には提案したいと考えております。

活動報告

3月

- 3月2日～3月27日 平成21年度第一回定例会
- 2日 代表質問 今年度から市長の所信表明に対する質問を会派代表制としました
- 6日 二小学校運営連絡協議会
- 8日 自民党日野総支部大会
- 14日 馬場ひろみち選挙事務所開き ソマリアを支援する会チャリティコンサート
- 17日 ふたば幼稚園修了式
- 19日 二中卒業式
- 22日 東京マラソンボランティア参加
- 25日 二小卒業式
- 26日 東京都十一市競輪事業組合監査
- 28日 東京飛火野ロータリークラブ 20周年式典
- 29日 スプリングフェスタひの 旭が丘・栄町児童館開所式
- 30日 十一市競輪・四市競艇事業組合 議会

4月

- 1日 自民クラブ街頭報告会 高幡・日野・豊田駅



- 4日 第4回平山季重まつり 川辺堀之内区画整理組合設立祝賀会 市長選総決起大会
- 5日 市長選公示
- 6日 二小入学式
- 7日 二中入学式
- 10日 ふたば幼稚園入園式
- 18日 二中青少年育成会総会
- 19日 日野市剣道大会開会式 家庭倫理の会講演会 豊田・堀之内用水組合総会
- 20日 防衛協会三市合同講演会
- 23日 七生中青少年育成会総会
- 24日 宅建業協会南多摩支部総会
- 26日 市民体育大会開会式
- 20日 春季剣道大会開会式 交通安全協会第九支部

5月

- 1日 新しい憲法を制定する推進大会
- 9日 新選組まつり式典 高幡不動尊
- 10日 ミニバスケット連盟合同練習事業
- 16日 ミニバス堀之内路線開通式



33年ぶりの路線バス復活。昭和51年まで同路線はありましたが利用者減や道路幅の問題等で廃止になっていました。地元住民として大変嬉しい復活です

- 16日 友遊ケアセンター開所式 日野市防衛協会総会 都議選合同総決起大会
- 17日 日野市合同総合水防訓練



今年は自衛隊も参加しての訓練です 当市の災害では朝霞の第1施設大隊から派遣されます 頼もしい限りです

- ミニバスケット連盟大会表彰式
- 22日 河川改修促進連盟総会・大会 日野市商工会総会 日野映像支援隊総会
- 24日 豊田商店会「わくわく市」
- 25日 東京都十一市競輪事業組合監査
- 27日 市議会代表者会議
- 29日 平成21年度第一回臨時議会
- 30日 秋山議長就任祝賀会 昭島市防衛協会青年部設立総会

6月

- 6月1日～17日 平成21年度第2回定例会
- 2日 自衛隊募集相談員連名委嘱式



市長、東京地方協力本部長より委嘱

- 13日 都議選事務所開き



事務所にて麻生首相の激励受けました

- 15日 萩生田衆議院議員モーニングセミナー
- 18日 全国防衛協会連合会総会
- 20日 二小道徳授業地区公開講座
- 25日 二小学校運営連絡協議会

- 28日 街頭遊説



高幡不動駅前にて 細田幹事長

7月

- 3日 都議会議員選挙告示



事務所前にて 出発式

出陣式 高幡・豊田・日野



高幡不動駅前にて 町村前官房長官

豊田駅北口にて 丸川参議院議員

- 5日 実践倫理宏正会壮年の集い
- 7日 都議選街頭遊説



多摩平山崎石油さん前 石原都知事遊説

- 10日 都議選街頭遊説



小池元防衛大臣

- 15日 東京都十一市競輪事業組合監査
- 16日 東京都十一市競輪・四市競艇事業組合議会
- 18日 二小まつり
- 19日 消防団ポンプ操法審査会
- 24日 国道バイパス促進議員連盟総会 八王子市役所
- 25日 日野田中病院夏祭
- 26日 第9回ひのよさこい祭 第7回サマーフェスタ・イン・たまだいら グランループ自治会夏祭
- 27日 三議連夏季議員研修会